

令和6年度 浜田市立松原小学校 研究計画

研究推進担当者 大場 敦子

1 研究主題

「自己を見つめ、響き合い、共によりよく生きる子どもの育成」
～学びを支える学校図書館活用をめざして～

2 研究内容

〈研究の重点〉

視点1 情報活用能力の系統的指導

- ・学校図書館を活用することで身に付けたい情報活用能力を把握し、全学年で系統的に指導する。
- ・教科横断的に展開する探究的な学習を支える技能を付けることを目指す。
- ・子どもたちの「分からないこと、知りたいこと」などを自分から調べたり、人に聞いたりして学習を進めることができる姿を目指す。

視点2 要約学習の実践

- ・校内研修を通して、要約学習のねらいを全職員が把握する。
- ・要約学習を学校教育の中に位置づけ、継続して指導を進める。
- ・要約学習の教科、領域への活用を進める。

視点3 言語活動、言語環境の充実

- ・あたたかい言語環境づくりを充実させる。
- ・学校図書館の改造を進める。
- ・家庭や地域社会と連携し、情報発信する。

月	予定	月	予定
4月	・研究推進計画の立案	10月	・研究授業【1年国語】
5月	・校内研修（要約学習） 講師：烏田勝信先生	11月	・公開授業【4年社会】
6月	・アンケート実施	12月	・アンケート実施
7月	・校内研修（1学期の振り返り） ・図書館整備	1月	・研究の振り返り ・研究のまとめ作成
8月	・校内研修（2学期準備）	2月	・今年度の振り返り
9月	・校内研修（要約学習） 講師：烏田勝信先生	3月	・次年度の見通しをもつ

3 実践に対する評価計画

視点1 情報活用能力の系統的指導

- ・「図書館活用年間指導計画」「学校図書館を活用することで身に付けたい情報活用能力の指導体系表」等の記録に基づき確認しながら振り返る。
- ・各学年の実践を全職員で共有し、身に付けた情報活用能力を全校に広げることにつながったか、系統的に指導することにつながっているのか検証する。
- ・児童アンケートにより検証する。

視点2 要約学習の実践

- ・「要約学習タイム」の実践の積み重ねを振り返り、児童の変容、学習活動への活用の状況を見取る。
- ・要約学習のスキルを身に付けることに向かっていく児童の思い、学習活動で活用する場面の変容を見取る。
- ・児童アンケートにより検証する。

視点3 言語活動、言語環境の充実

- ・図書館の環境改善により、児童の図書館活用の様子にどのような変化、効果があったのかを見取る。
- ・家庭への発信によって、保護者の図書館活用への意識がどのように変容したのかを見取る。
- ・児童アンケート、学校評価により検証する。